

員外、故郷を思ふ歌兩首

八四七番

我が盛り いたくたちぬ 雲に飛ぶ 薬食むと  
も またをちめやも

八四八番

雲に飛ぶ 薬食むよは 都見ば いやしき我が身  
またをちめべし

後に梅の歌に追和する歌四首

八四九番

残りたる 雪に交じれる 梅の花 早くな散りそ  
雪は消ぬとも

八五〇番

雪の色を 奪ひて咲ける 梅の花 今盛りなり  
見む人もがも